

ながぬま



稲刈り作業

— 24区 柳原 茂春さん ほ場 —

販売部 令和5年産 『ながめま米の館』操業開始

9月6日、令和5年産米の荷受作業を開始しました。
昨年より11日早いスタートとなり、「ななつぼし」「ゆめぴりか」など約540tの受入を行いました。
また、本年も引き続き「食への安

全・安心・信頼性確保」に向けて、品種判別のDNA鑑定や残留農薬の検査、カドミウム分析を実施し、より安全性の高い長沼産米を提供してまいります。



販売部 JAながめま青果物 JAL共催販促イベント開催



9月9日から10日の2日間に渡り、関西地区を中心に157店舗を展開する量販店チェーン平和堂において、この度JALの協力をいただき販促イベントを開催いたしました。
兵庫県尼崎市の大型商業施設「平和堂アル・プラザつかしん」にて、今回は、朝採りコーン、ブロッコ

このような販促イベントは関西地区の量販店としては昨年の大盛況に続き2回目の取組みであったこともあり、消費者の反応が非常に良く平和堂本社に消費者から感謝の電話が入るなど想定以上の反響があったと大好評をいただきました。

航空会社との連携による
リー、トマト、フルーッとマト、長葱の5品目を朝一番のJAL便にて空輸し、その日の午後1時にイベント開催店舗に到着。即座に陳列しJAL社員が販売ブースに立ち長沼産野菜を販売しました。

ながめま農協 米作研究会 『町内現地研修会』

9月1日、米作研究会の現地研修会が会員9名参加のもと開催されました。
会員それぞれが稲株のサンプルを持ち寄り、良品質米生産に向け適期刈取時期を確認しました。また、ほ場視察も行い意見交換の場を設け有意義な現地研修会となりました。



大豆採種組合 第2期ほ場審査実施

9月20日に第2期ほ場審査が実施されました。収穫に向けての注意点などを普及センターの菅原専門主任と森主査から確認をいただきました。採種組合の方々が生産された種子は、調製や根粒菌加工などを経て皆さんのもとへ配送されます。



第2期ほ場審査

資材部 不要農機具・タイヤ 回収を実施

8月30日に営農資材課による不要農機具・タイヤ回収を農業倉庫敷地内で実施しました。
不要農機具は約8.5t、タイヤは約1029本の回収実績となりました。



不要農機具回収



不要タイヤ回収

農協決算報告

事業の概況

令和5年度上半期事業の概要を報告いたします。

本年の積雪は少なく、融雪期は平年より11日早い3月16日となりました。春先から農作業は順調に進みました。6月中旬以降は高温・多照で推移し、8月24日には観測史上最高気温となる35.2℃を記録しました。8月以降は降雨の日が多くなり、降雨の合間をぬって各作物の収穫作業が行われています。

水稻では、育苗期間中の気温、日照も確保され苗質は良好で、移植期は平年並の5月21日となりました。移植後、6月の高温・多照により分けつが旺盛となり、幼穂形成期は平年より3日早い6月29日となりました。その後も高温傾向が続き、出穂期は平年より5日早い7月25日、成熟期は平年より11日早い9月2日となりました。一穂粒数は平年よりやや少ないものの、稔実粒数は平年よりやや多いことから、収量は平年並～やや良の見込みとなっております。

小麦については、起生期は平年より12日早い3月21日で、茎数は平年並でした。その後は気温が高く推移し、幼穂形成期は平年より9日早く、止葉期および出穂期についても5～3日早まり、成熟期は平年より6日早い7月11日となりました。稈長、穂長、1穂粒数は平年並でした。穂数が多かったことから収量は平年より多いものの、細麦傾向となりました。

主な事業内容は下記の通りであり、各事業の目標達成に向け積極的な事業推進に努め、組合員経済の安定向上と農業経営に万全を期してまいりますので、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

信用事業

区分		上期末残高	前年対比
貯金	長・短期	39,752,650 千円	150,810 千円増加
	受託資金	6,252,062 千円	563,454 千円増加
貸付金	計	6,089,737 千円	334,369 千円減少
		12,341,800 千円	229,086 千円増加

共済事業（生命・終身・こども・建更・年金）

区分	上期末保有高	前年対比
保障額	69,681,240 千円	263,950 千円減少

販売事業

区分	上期末取扱高	前年対比
米	270,208 千円	58,375 千円増加
小麦	67,326 千円	38,592 千円増加
豆類・その他	59,710 千円	27,521 千円増加
園芸	1,331,202 千円	83,953 千円減少
酪畜	1,363,485 千円	315,070 千円増加
計	3,091,933 千円	355,606 千円増加

営農資材事業

区分	上期末取扱高	前年対比
肥料	641,868 千円	81,357 千円増加
その他資材	1,385,457 千円	115,942 千円増加
農機具	494,678 千円	154,440 千円増加
計	2,522,003 千円	351,739 千円増加

9月12日、第25回ながめま農協年金友の会ゲートボール大会が、ながめま温泉屋内ゲートボール場で開催されました。

参加者21名による4チーム対抗のリーグ戦が行われ、日頃の練習の成果を発揮すべく熱戦が繰り広げられました。

成績は次の通りです。

優勝 中野チーム

準優勝 仁木チーム



ながめま農協年金友の会ゲートボール大会開催

消防避難訓練を実施

9月13日、消防法施行令により年2回の消防訓練の実施が義務付けられていることから、本所事務所・Aコープながめま店、本所生産資材事務所、機械センターにおいて通報・避難訓練と消火訓練を行いました。

火災報知器の非常ベルを鳴らし、火元の確認、初期消火活動、消防署への通報と事務所・店舗内での避難誘導の訓練を実施しました。また、消火訓練では株式会社ユニ商会の指導により水消火器を使って消火作業を行い、万が一の火災発生時に対処出来るよう備えました。



JAへの就職希望者100%就職（令和4年度実績）

令和6年度 第2回学生募集

- 定員60名 ●男女共学 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満(令和5年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：12月9日(土) ●筆記・適性試験：9日(午前)／面接：9日(午後)
- 願書受付：10月2日(月)～11月17日(金)消印有効 ●学校見学もできます

JAグループ職員養成校
お問い合わせ 資料請求
JAカレッジ
一般財団法人 北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 JAカレッジ 検索

(1) 排水対策

排水不良地では降雨や融雪水が滞水し、窒息による枯死や雪腐病の発生を助長させます。融雪水が停滞しやすい場合は、速やかに排水できるよう溝切りなどの排水対策を実施しましょう。

(2) 農薬による防除

根雪始に近いほど防除効果が高まりますが、降雨等により防除ができなくなる可能性もありますので、残効性に優れる薬剤で少し早めに防除を実施しましょう。スプレーヤによる防除が実施できるように事前に防除通路を踏み固めておくことが必要です。また、防除はなるべく天気の良い日中に実施しましょう。

【散布時期の目安】 11月上旬～11月中旬

【参考】近年の根雪始 令和2年12月14日 令和3年12月18日 令和4年12月1日

4. 雪腐病とコムギなまぐさ黒穂病の防除

雪腐病と合わせてコムギなまぐさ黒穂病防除を実施しましょう。

(1) 100ℓ／10a 散布 主な防除薬剤

農 薬 名	適 用 病 害	倍 率（10a 散布水量）
フロンサイドSC	コムギなまぐさ黒穂病 大粒菌核病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	1000倍（100～150ℓ） 地際まで十分散布
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	1000倍（100ℓ）

(2) 無人ヘリ・ドローン等の空中散布 主な防除薬剤例

農 薬 名	適 用 病 害	倍 率（10a 散布水量）
フロンサイドSKY	コムギなまぐさ黒穂病 大粒菌核病 黒色小粒菌核病 褐色小粒菌核病 紅色雪腐病	8倍（0.8ℓ） または 16倍（1.6ℓ）
ランマンフロアブル	褐色雪腐病	8倍（0.8ℓ）

※「フロンサイドSKY」購入使用にあたっては、別途「安全使用同意書」の提出が必要です。

※ 排水性悪い畑、転換畑は、「褐色雪腐病」の発生が予想されるので、ランマンフロアブルを混用しましょう。

※ フロンサイドSCおよびランマンフロアブルの効果低減の目安
散布後から根雪までの降水量（合計）120～150mm



1. 秋施肥

大豆間作小麦栽培では、大豆収穫直後に窒素成分で3～4kg/10aを目安に施用しましょう。

主な施肥例

肥 料 銘 柄	10a 施用量 (kg)	施用窒素量 (kg/10a)
BB082M	30～40	3～4
ワイドユース450	20～30	2.8～4.2

※ワイドユース450は予約注文品

2. 雑草対策

イネ科雑草および広葉雑草処理を10月中旬までに実施しましょう。

処理が遅れると除草効果が劣り、越冬した雑草には、春の除草剤処理では効果が劣ります。

主な除草剤

対象雑草	農 薬 名	使 用 時 期	10a 当り使用量 （散布水量）
イネ科雑草	トレファノサイド乳剤	小麦は種後～3葉期 （イネ科雑草1葉期まで）	200～300ml （100ℓ）
広葉雑草	エコパートフロアブル	小麦2～4葉期	50～75ml （100ℓ）

※エコパートフロアブル・・・展着剤は薬害を助長する恐れがあるので加用しない

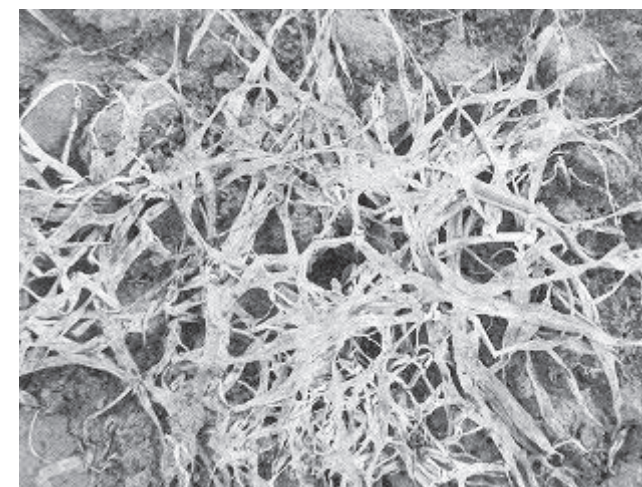
※小麦2～3葉期は、トレファノサイド乳剤とエコパートフロアブルの同時処理が可能です。

3. 雪腐病対策

雪腐病は融雪後の生育遅延や茎数の減少を招き、収量・品質を低下させます。長沼町では、主に紅色雪腐病・褐色小粒菌核病による雪腐病が多いです。

近年は黒色小粒菌核病の発生により被害を受けているほ場がありました。

以下の対応および防除を実施しましょう。



雪腐れにより枯死、黒色の小粒が多数見える

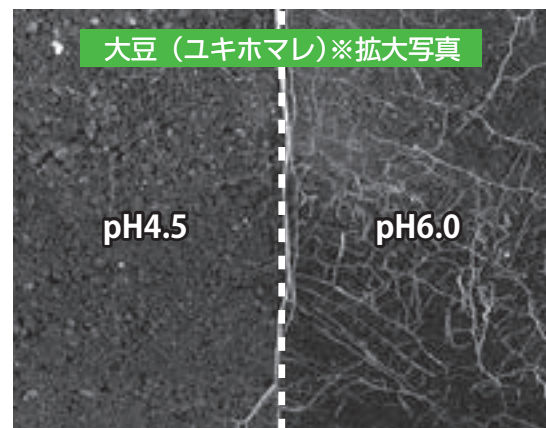
土壌診断を活用した適正施肥の推進について

土壌診断の果たす役割は、大きく二つあります。一つ目は、作物の生育不良の原因究明、二つ目は、水田・畑を正常な状態に維持管理する指標としての役割です。

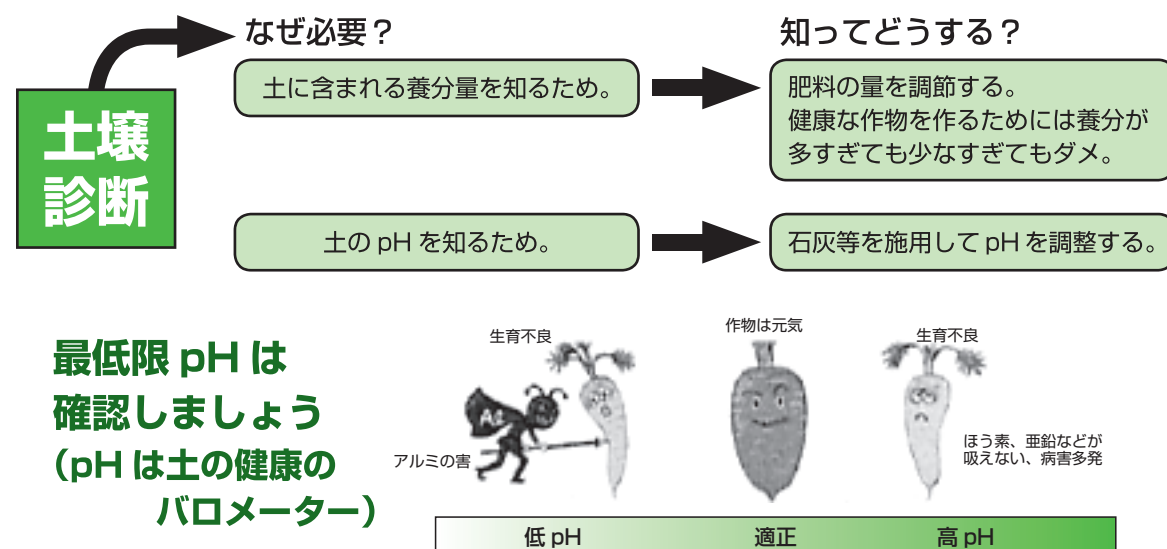
前者が緊急を要する対策診断に対して、後者は、人間の健康診断のようなもので、定期的に健診して悪い所をあらかじめ是正する予防的な診断です。

すなわち、定期的に土壌診断を行って、土壌改良や施肥改善に結びつけ、効果的・効率的な施肥及びほ場管理記録としてコスト低減につなげるうえでも必須改善事項です。

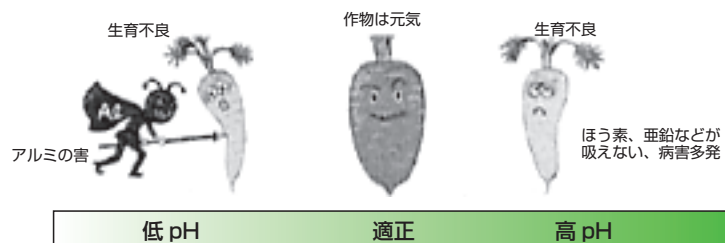
令和4年実施の診断結果では、畑地の3割が基準値（pH 5.5）より低く、酸度（pH）矯正が必要なほ場が多い事が伺えます。そのため、JAでは引き続き、土壌診断に係る費用の助成をおこなってまいります。



土壌pHの違いによる根の生育状況



最低限 pH は
確認しましょう
(pH は土の健康の
バロメーター)



期 間 令和4年度から令和6年度までの3カ年

実施方法

- 土壌診断申込書とともに土壌分析試料を営農資材課へ提出してください。
※土壌診断申込書及び土壌分析試料サンプル袋は、北長沼支所、営農資材課、舞鶴事業所でお取り寄せください。
- 「ホクレンくみあい土壌分析センター」で実施します。（診断結果は、申し込みからおおよそ1カ月）
※混雑状況により診断結果がでるまでにおおよそ2カ月以上かかる場合もあります。
- 対象作物：水稻、畑作、野菜・花き（露地・ハウス）等
- 基本分析費用 2,200円／1点（税込）

助成内容 一戸当たり（正組合員）年間10点を上限に基本分析費用を助成

問い合わせ先 営農企画課 TEL 88-2226 営農資材課 TEL 88-2407

収穫後のほ場管理と土壌診断の実施のポイント

1. 水田のほ場管理

水稻収穫後のほ場管理は翌年の作業性を改善するだけでなく、収量・品質を高めるためにも重要です。今年は平年より収穫作業が早いので、以下の事項をぜひ実施しましょう。

(1) 稲わらの搬出

稲わらの焼却は、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因にもなりますので絶対に行わない。どうしても稲わらの搬出ができない場合でも、そのまま放置せず、できるだけ早い時期に土壌表面に混和しましょう。

(2) 排水改善

ア 溝掘りで表面排水の促進 イ 心土破碎の施工 ウ 排水路の清掃

(3) 畦畔の補修

冷害軽減に向けた深水管理や施肥・除草剤の効果を維持するためには、十分な畔高を備え、漏水対策をしっかりと行うことが重要です。畦塗りなどの補修を行いましょう。

2. 畑地のほ場管理

(1) 収穫残渣物処理と雑草対策

収穫残渣物は、速やかにほ場搬出し、残渣物は浅めにすき込みます。雑草発生ほ場では、残渣物すき込み10日程度の後、雑草発生揃い時期にラウンドアップマックスロードなどで雑草処理を実施しましょう。

(2) 排水改善

排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破碎、額縁明渠の施工、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

3. 土壌診断の実施

高品質農産物の安定生産と施肥の適正化に向け、土壌分析結果や今年の生育を参考にし、ほ場ごとの適正施肥へ、土壌診断を3年に1回以上は行いましょう！

◎水稻育苗床土 基準pH 4.5～5.0

◎水田土壌 基準pH 5.5～6.0

◎畑作物土壌 基準pH 5.5～6.5

土壌診断によりpH確認し、炭カルなどでpH改善しましょう。

※ 目標pH 6.0矯正への炭カル施用量 (kg/10a 改良深10cm)

測定値 (pH)	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	86

※アレニウス氏表による酸性矯正より（腐植程度：含むの場合）

多項目の土壌分析診断については、JA助成（1戸10点まで）を活用しましょう。

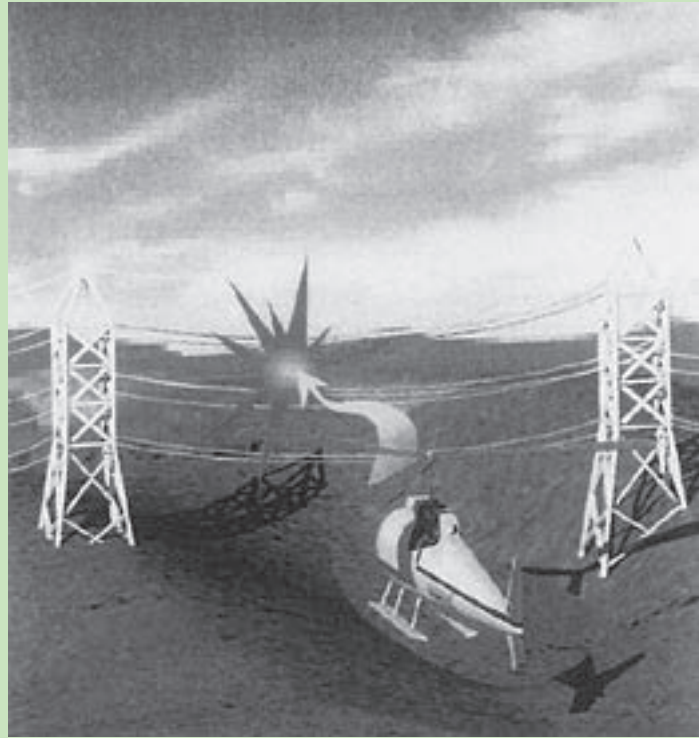
土壌診断用の土壌は、11月末までにJA資材センターへ提出しましょう。

ヘリコプターなどによる 電線接触災害防止のお願い

水稻の病虫害駆除など、**ヘリコプター**や**ラジコンヘリ**による空中からの薬剤散布は簡便で効果的なため、各地で実施されております。

しかし、たいへん残念なことに、散布中に電線に接触するなどのトラブルや、これにともなう停電事故も発生しております。

電線付近で**ヘリコプター**や**ラジコンヘリ**を操縦される際は、皆さまの安全のためにも、機体と電線との完全間隔を十分にとり、安全に操縦されますよう、お願いいたします。



北海道 最低賃金

令和5年
10月1日 から
時間額

960 円

前年比
40 円
UP

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

WEBで確認！

最低賃金に関する特設サイト

最低賃金制度 検索

最低賃金に関するお問い合わせは北海道労働局または最寄りの労働基準監督署へ

北海道労働局 検索

賃金引上げ特設ページ

賃金引上げに向けた支援策等を掲載しています。

賃金引上げ特設ページ 検索

中小企業事業者の皆さんへ

業務改善助成金

最大 600万円を助成



また、家族と、会えるように

農業機械の転落・転倒対策

☒ ヘルメット
☒ シートベルト
 シートベルト・ヘルメットの着用

☒ 安全フレーム
 安全フレーム付きトラクターの利用

幅員狭小区間のうり目

コーブ区間の徐行

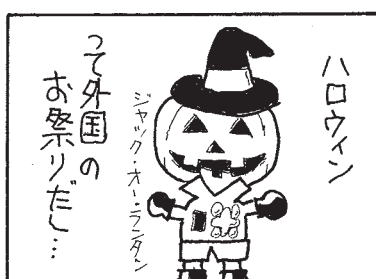
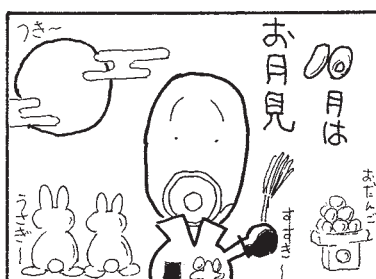
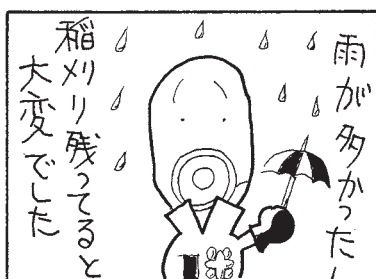
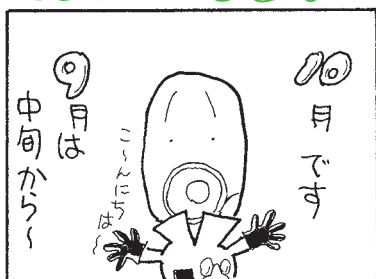
デザイン / 2023 年農作業安全ポスターデザインコンテスト 農林水産大臣賞 TANGJITRUAMBOON TANANAN

2023年 秋の農作業安全月間



イラストは、農林水産省の
許諾を得て使用しています。





ロータリーブレード 年内予約推進のご案内



来シーズンに向けたロータリーブレードの年内予約推進を行います。

ＪＡオリジナルのＳＰ爪・青爪・だんだん爪（株太陽製）および純正爪を予約特価でご提供いたします。

営農コスト低減のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

※10月23日(月)～10月27日(金)の日程で、各戸巡回推進へ伺いますので、ロータリーブレードの磨耗状況をご確認の上、交換が必要な方はお申し付けください。

お問い合わせ 本所資材センター ☎ 88-2189

業務時間変更のお知らせ (11月～3月)

部 門 ・ 部 署			平 日	土曜日	日・祝日
ながめま農協	一 般 業 務	本 所	9:00 ～ 17:00	休 業 ※ 緊急時の連絡先は下記番号へお願いします キャッシュカード盗難・紛失等 ☎0 1 2 0－9 4 4－9 0 4 自動車事故受付サポートセンター ☎0 1 2 0－2 5 8－9 3 1 レッカー移動・故障時応急対応 ☎0 1 2 0－0 6 3－9 3 1	
		北長沼支所	9:00 ～ 16:30		
		舞鶴事業所	9:00 ～ 16:30		
	貯 金 ・ 融 資 (窓 口 業 務)	本 所	9:00 ～ 15:30		
		北長沼支所	9:00 ～ 15:30		
	現金自動支払機 (A T M)	本 所	9:00 ～ 18:00	9:00 ～ 16:00	休 業
		北長沼支所	9:00 ～ 16:00	休 業	
		舞鶴事業所	9:30 ～ 16:00		
資 材 セ ン タ ー	本 所	9:00 ～ 16:30	11月 日直対応 9:00 ～ 12:00	休 業	
			12月以降 休業		
FAMO長沼	機 械 セ ン タ ー		11月～2月 9:00 ～ 17:00	日直対応 9:00 ～ 17:00	11月は日直対応 9:00 ～ 17:00
			3月 8:00 ～ 17:00		12月～3月は休業
	燃 料 セ ン タ ー	事 務 所	9:00 ～ 17:00	17時まで日直対応 9:00 ～ 12:00	日直対応 9:00 ～ 17:00
	ホクレン給油所	長沼給油所	8:00 ～ 18:00	8:00 ～ 17:00	第1・第3・第5日曜日は休業 第2・第4日曜日・祝日は 9:00 ～ 17:00
		北長沼給油所	8:00 ～ 18:00	休 業	休 業
		舞鶴給油所	9:00 ～ 16:30	休 業	休 業
	A コ ー プ 店 舗	長 沼 店	10:00 ～ 18:00		10:00 ～ 18:00 定休日は店頭で お知らせします
	A コ ー プ 店 舗	北 長 沼 店	9:00 ～ 17:00	休 業	休 業

通年を通した軽装化「ナチュラル・ビズ・スタイル」の取組みについて

北海道をはじめとする各行政機関並びに連合会・各企業が、クールビズ・ウォームビズの期間設定を行わず、働く人一人一人が主体的に働きやすい服装を判断する「ナチュラル・ビズ・スタイル」に移行しており、当ＪＡとしても、ＳＤＧｓの一環として、省エネや節電を強く意識した服装（ノーネクタイ・ノージャケットなど）で執務を行う取組みを実施いたしますので、組合員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

地域農業の担い手、 ＪＡ青年組織盟友を 応援する雑誌

お問い合わせ 営農企画課 Tel.88-2232

退職 職員

(令和5年9月30日付)

金融部 融資課 融資係
横山 友理恵 (旧姓 川口)

あなたのあうちへ
福をマネー

「家の光」12月号・1月号
購読中込受付中!

お申し込みは
営農企画課
Tel. 88-2232

1月号
別冊付録

12月号
第1・第2
別冊付録

JAグループ 家の光協会 〒182-8448 東京都新宿区市谷鈴町11 (TEL) 03-3286-9039 <http://www.ienohikari.net>

理事会報告 - 第9回 -

《令和5年9月4日開催》

[議案]

- 第1号 令和5年度上半期決算報告について(子会社)
- 第2号 令和5年度上半期決算報告について(農協)
- 第3号 令和5年産米概算金の設定について
- 第4号 信用供与等の決定について
- 第5号 「当組合における取引のリスク評価書」について
- 第6号 担い手支援事業について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 利益相反取引の実行報告について
4. 主要農産物の生育状況について
5. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の実施申請について
6. 令和5年度 JA共済コンプライアンス点検結果について
7. 職員に対する定時手当の支給について
8. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。



今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,539名(－2)
正組合員 804名(－2)
准組合員 735名(±0)
正組合員戸数 622戸(－3)

農協の動き 8/22～9/4

8月

22～25日	農薬推進	於 組合員宅
28日	千歳川治水対策促進連合会定期総会	於 恵庭市
28日	空知管内農協専務会議	於 由仁町
30日	不要農機具・タイヤ等回収	於 農協16号倉庫奥
30日	粳バラ施設運営協議会	於 農協
30日	事業推進員会議	於 農協
31日	長沼町常勤者会議	於 町内

9月

1日	職員採用試験(筆記)	於 農協
4日	理事会	於 農協
4日	空知管内農協役員研修会	於 岩見沢市

食と農
ひらく未来へ
確かな目

食農のページがもっと楽しく
食農教育の知識がいっぱいつまっています。



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

購読のお申し込みはJAへ



日本農業新聞

喪中はがき 承ります
年賀状印刷

喪中はがき 10月23日より受付
年賀状 11月1日より受付

Aコープながめ店 ☎88-2222
Aコープ北長沼店 ☎89-2136



JA だより ながめま
2023. 10月号 No. 356

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながめま農業協同組合 営農部営農企画課
TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp